

関数とグラフを使ったレポート作成

前回の課題で合計を計算する作業を行った。(教科書 pp.110,120)

今回は各種の関数や計算式を利用したレポートの作成を行う。

課題 1.

前回の提出課題「生産計画」の合計部分をもとに、以下の要点を漏れなくそれぞれ実行し、結果を印刷して提出せよ。

商品名	前年実績	関東圏	関西圏	その他	合計	
野菜物語	19000	13000	12000	7500	32500	
これまた茶	18000	17050	15000	3000	35050	
爆裂コーラ	21000	6000	8100	5000	19100	
つぶつぶ茶	10000	9400	9000	2000	20400	
激ウーロン	20000	3000	2000	1300	6300	
合計	88000	48450	46100	18800	113350	
平均	-	17600	9690	9220	3760	22670

商品名	前年実績	関東圏	関西圏	その他	合計
野菜物語	22%	27%	26%	40%	29%
これまた茶	20%	35%	33%	16%	31%
爆裂コーラ	24%	12%	18%	27%	17%
つぶつぶ茶	11%	19%	20%	11%	18%
激ウーロン	23%	6%	4%	7%	6%
合計	-	43%	41%	17%	100%



1. 教科書 pp.120 の説明に基づいて SUM 関数を用いて計算し直してみよ。縦横の合計セルに関数を入力するには、教科書 pp.116 にあるオートフィル（フィルハンドル）機能が利用できることを試せ。逐一手で計算式などを繰り返して入力するのはタイプミスなどを防ぐ意味からも行わないこと。
(前年合計と今年の合計を足すような意味のないことをしないように。)

2. 次に教科書 pp.122 を参照して、これに平均を加える。右図の上半分のようになるだろう。
(数値や並び順は各自で適当に入力しているだろうから、サンプルとは一致しないが気にしない)

3. 続いて、図の下半分にあるように、売上数ではなく地域ごとの全体に対するパーセンテージを示す表を作成せよ。具体的には例えば上図の C17 セル (C 列の 17 行目) には計算式として「=C6/C11」を指定すればよい。その計算結果である 0.2345 などの数字を 23% などの形式にするには pp.124 を参照。D17 から G17 セルに計算式を入力するにもオートフィル機能が利用できる。
(C17 セルの内容をオートフィル機能を使って C18 セルに移した場合、意図しない計算結果が現れるだろう。原因と解決法は教科書 pp.157 以降にあるが、次週、またはそれ以降の実習で扱うので、今は気にしない。)

縦横の合計欄にどのような計算式を与えれば意味のある表になるかは各自で考えること。言われた通りに数字を並べるパズルをやっているのではなく、意味のある統計分析の訓練をしていることを忘れずに。なお、サンプルの C22 セルは手作業で「-」記号を入力している。

4. 教科書 pp.130 を参照して、下半分のパーセンテージの表には罫線をつける。また、横軸の項目見出しは真ん中揃え (pp.114)、タイトルは大きな文字を設定して体裁を整え、印刷する。罫線のつけ方はサンプルのとおりにならなくて良いので、各自で見やすいと思える体裁に加工する。必要なら教科書 pp.136 などを参考に行を挿入・追加するなどせよ。

前回の提出課題を手元に保存していない者はコンピュータ  にある Report Folder  からたどって、「生産計画見本 2」と名づけられた Excel ワークシートを利用せよ。

講師から OK を得たら、その結果を保存し、Moodle の課題機能を利用して提出しておくこと。

課題 2.

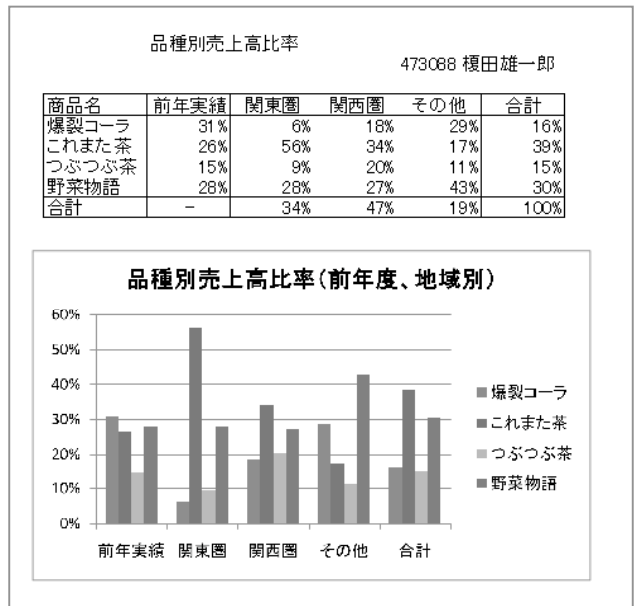
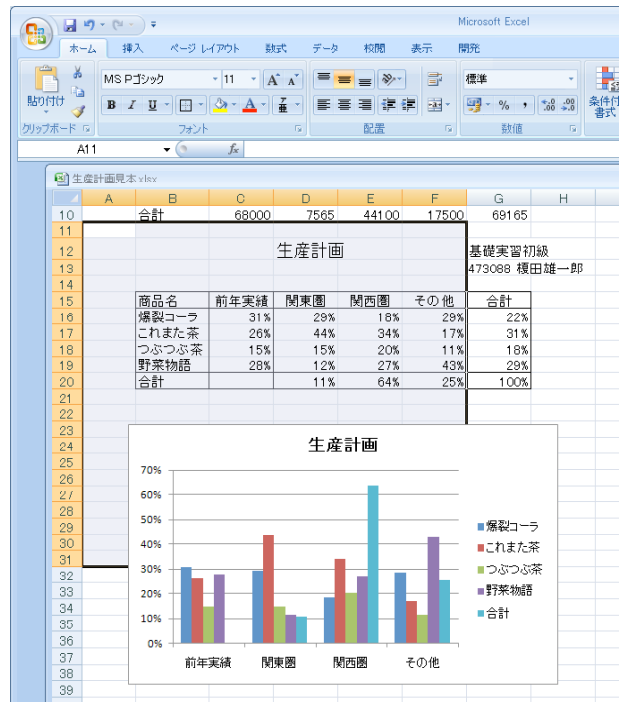
教科書 pp.138 からを参考に、グラフをつけて印刷、提出せよ。グラフの種類は問わない。自分が見やすいと思う形態のものでよい。サンプルは意図的に良くない形式のグラフを出しているの、これを改善するつもりで作ること。

印刷するときには、以下の手順に従って印刷範囲を必要な部分に限定し、不要部分を印刷しないこと。

1. 右図のように、印刷したい範囲をドラッグして選択する。(右図はドラッグの途中なので実際には全部囲むつもりで)
2. 「ページレイアウト」メニューの「印刷範囲」の中にある「印刷範囲の設定」を選択する。選択していたセル範囲の周囲に点線で枠が付き、これが印刷範囲となる。
3. 念のために印刷前に Office ボタン の「印刷」メニューにある「印刷プレビュー」を行い、意図した範囲だけが 1 ページ内にうまく収まっているかどうかを確認する。問題なければ「印刷プレビューを閉じる」ボタン をクリックして今までやってきた方法で印刷するか、その場にある「印刷」ボタンをクリックして印刷。

最終的には右図のような結果が印刷できるように。グラフの見出し位置や、横軸、タイトルの文字サイズなどは全て調整可能なので、みばえのよいように体裁を整えること。

講師から OK を得たら、その結果を保存し、課題 1. の結果とともに、Moodle を利用して提出しておくこと。



課題 2.までできた受講生のうち、前回の課題 (右) が未提出であればそれを提出すること。

平成13年中における留学生等の日本企業への就職について
国籍・出身地等内訳 473088 榎田裕一郎

地域	人数	全体に占める割合(%)
アジア	3,387	94.6
ヨーロッパ	83	2.3
北米	34	0.9
中南米	25	0.7
大洋州	31	0.9
アフリカ	21	0.6
合計	3,581	

出典 平成14年9月 法務省入国管理局資料から